

F58b 壁掛金具 取扱説明書

----- 重量 58kg 以下の薄型テレビの取り付けに適用 -----

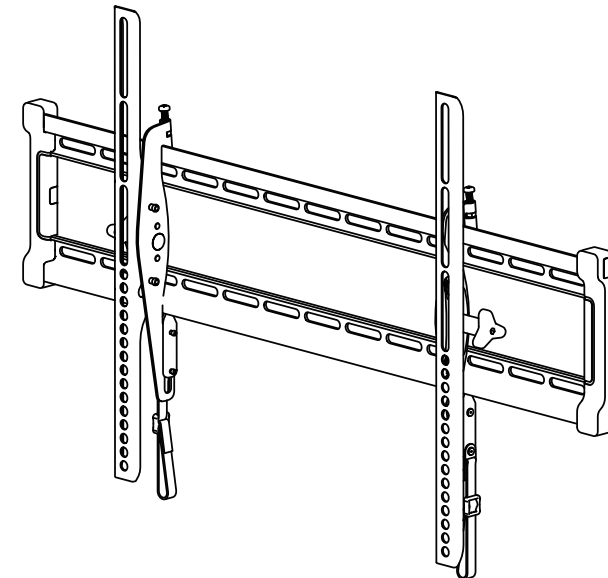
この度は、F58bの壁掛金具をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
F58bは32V型～70V型の薄型テレビの取付用です。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

本製品をご利用になるお客様へ

本製品の取り付けには、特別な技術や確実な作業が必要となります。必ず、販売店や工事に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ


薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では一切の責任を負いません。




安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。


 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。


お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。


 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。(してはいけない禁止内容)


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(実行すべき強制内容)


 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。(気をつける内容)


警告


 **禁止** 壁の強度は少なくともテレビと壁掛金具を合わせた重量の5倍の重量に耐える強度が必要です。F58b 壁掛金具は、32V型～70V型で、総重量58kg以下の液晶等の薄型テレビを、木柱又はコンクリート製の壁面に固定するためのものです。これらの最大耐荷重以上の薄型テレビの取り付けには絶対使用しないで下さい。又、木製やコンクリート以外の(鉄骨製などの)壁面には取り付け出来ません。この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたり、テレビが破損する原因となります。


 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。


 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。


 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。強度の弱い壁や平面でなかつたり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。


 湿気やほこりの多いところや油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けしないで下さい。又、エアコンの上や下にテレビを取り付けしないで下さい。テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。


 **禁止** 組み立ての手順を守り、指定の箇所はすべて確実にネジ止めして下さい。ネジ山の破損したネジや、さびたネジは絶対使わないで下さい。指定を守らないとテレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。


 ！ テレビの取り付けや取り外し作業は2人以上で行って下さい。テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。

 **禁止** 本製品には小さな部品が同梱しており、誤って飲み込むと窒息の危険性がありますので、お子様の近くにこのような部品を置かないで下さい。又、壁掛け金具の組み立ての際は、危険ですからお子様を周囲に近づけないで下さい。

 取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。

 ！ 組み立てる前に、すべての部品が揃っており、破損していないことを確認してください。足りない部品又は破損している部品のある場合は、ネットワークジャパン(株)に連絡して下さい。尚、破損した部品は、絶対にご使用しないで下さい。

 ！ 壁掛け金具を壁面に固定するネジは下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や強度によっては不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。

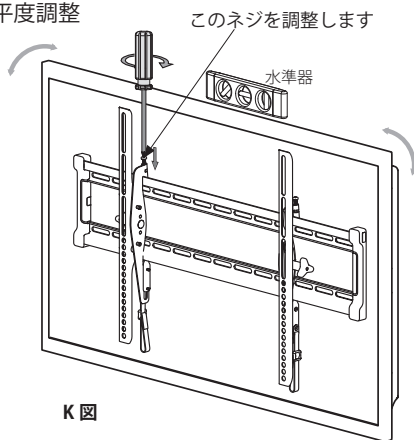
 ネットワークジャパン(株)は、不適切な組み立てや、使用により発生したけが等の傷害や、物品の損傷に対して一切の責任を負いません。

Memo

水平度の調整



水平度調整



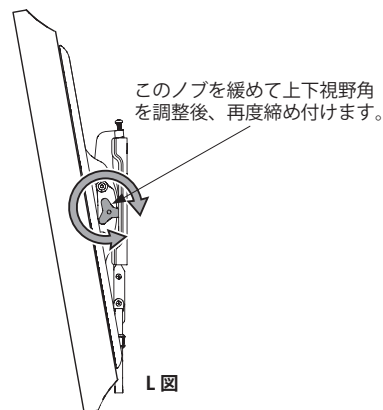
K 図

テレビの水平度は、必要に応じてブラケット[01, 02]の図に示したネジを締めたり緩めたりして、調整します。

上下視野角の調整



上下視野角調整



L 図

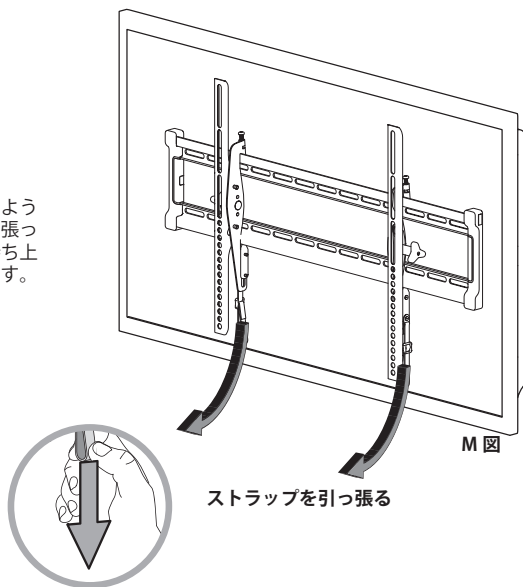
ブラケット[01, 02]のノブを緩めて、テレビの上下視野角（ティルト）を調整します。希望の上下視野角になれば、ノブを元通りに締め付けます。

テレビの取り外し方



注意 重量があります！
この作業は二人以上で行って下さい。

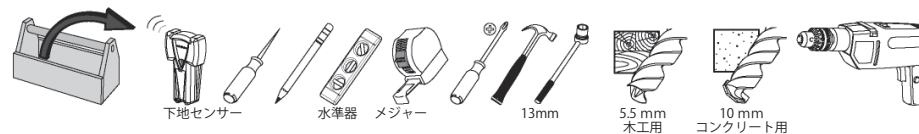
テレビを取り外すには、図のようにストラップを下方方向に引っ張ってロックを外し、テレビを持ち上げて壁掛金具から取り外します。



M 図

重要 本製品を使用する前に、この説明書をよくお読み下さい。又この説明書は、大切に保管して下さい。

必要な工具類



下地センサー

水準器

メジャー

13mm

5.5mm
木工用

10mm
コンクリート用

仕様

耐荷重 : 58kg (テレビと付属品を含みます)

適応テレビサイズ : 32V型～70V型

ティルト調整 : +5° -10°

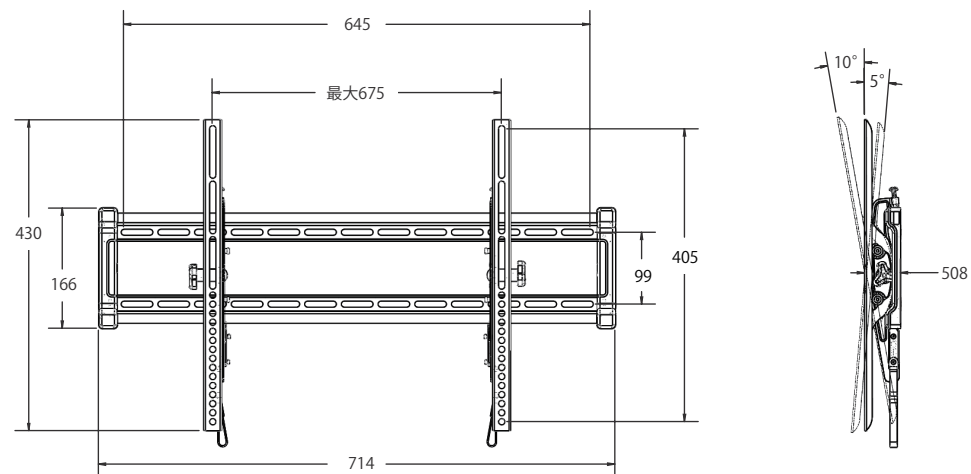
※左記を超過しないようにして下さい。

注意 : ケガをしたり、壁面を破損しないように次の点に注意してください。

- ★ 用途以外の目的で本製品を使用しないでください。
- ★ ご利用の壁面は、テレビと壁掛金具の総重量の5倍を支えられなければなりません。
- ★ 本製品は金属製柱の壁での使用には適していません。
- ★ ここに記載される内容が解らない場合、または製品の取り付け、組み立てや仕様、その他質問がある場合は、ネットワークジャパン（株）又は認定業者にお問い合わせください。
- ★ 付属の部品はすべて使用する必要はありません。ご利用の環境に合わせて必要な部品をお選びください。また、ご利用の環境によっては別途、お客様において部品をご用意いただく必要があります。

外観図

単位 : mm

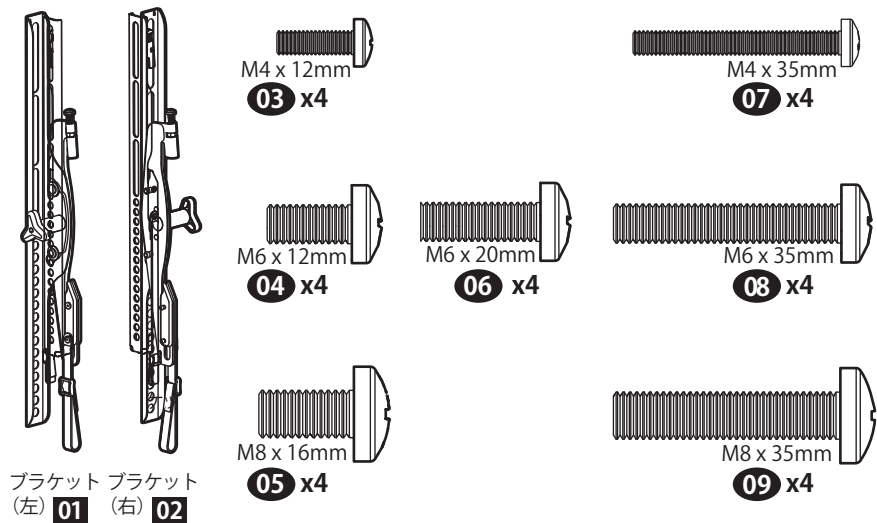


付属の部品類

警告：本製品には小さい部品が付属しており、誤って飲み込むと窒息の危険性があります。組み立てを始める前に、部品がすべてそろっており、破損していないことを確認下さい。足りない部品または破損している部品がある場合は、ネットワークジャパン(株)までご連絡下さい。破損した部品は絶対にご使用にならない下さい。

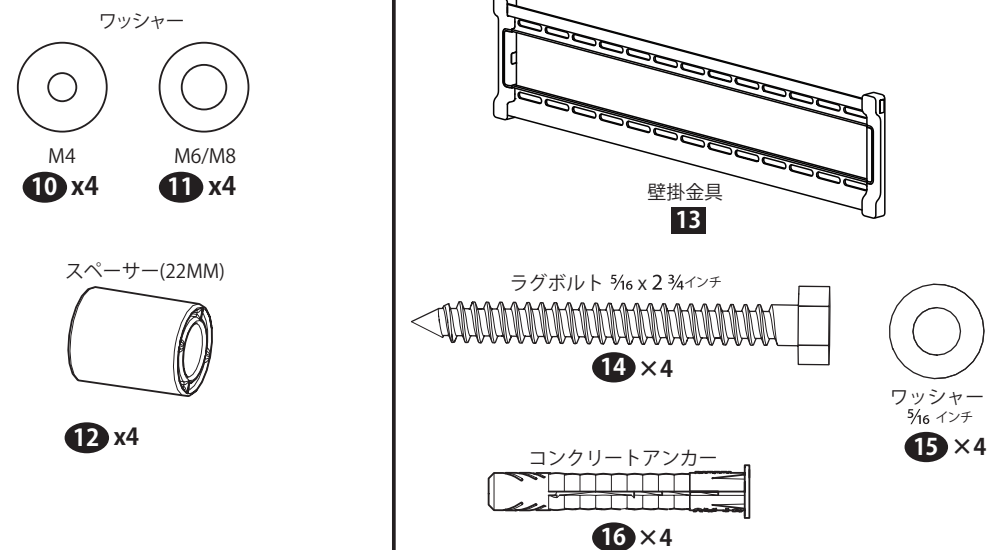
参考：M4、M6、又はM8 は直径を指し、mm は「M# X #mm」の表記において、ネジの長さを指します。付属の部品類をすべて使用するとは限りません。

STEP 1で使用する部品 1



STEP 1で使用する部品 2

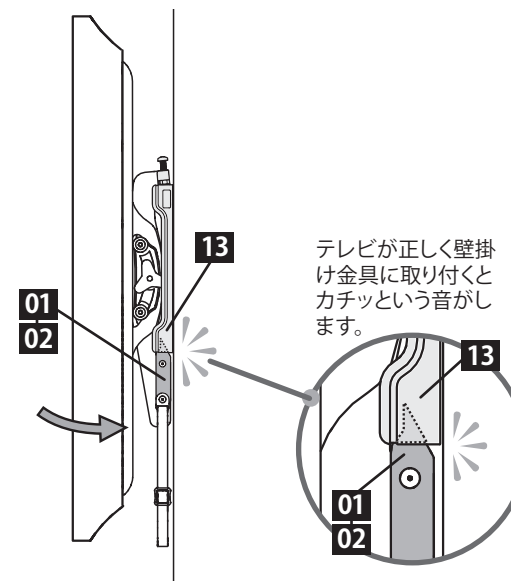
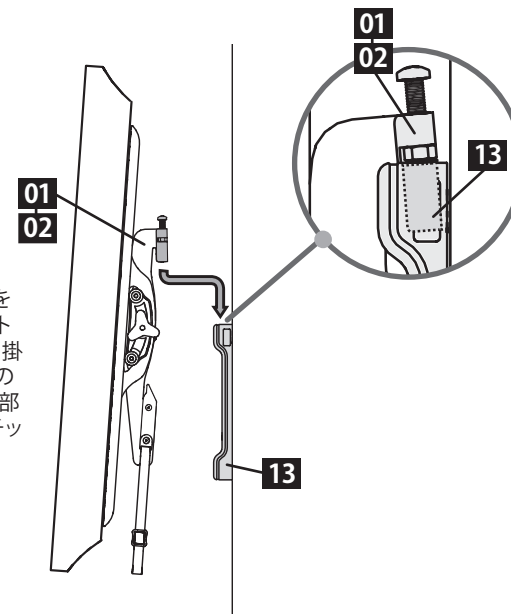
STEP 2で使用する部品



STEP 3 テレビを壁掛金具に取り付ける

注意 重量があります！
この作業は二人以上で行って下さい。

STEP 1 で取付けたテレビ/ ブラケットを水平にして、ブラケットの上部のスリットを壁掛金具[13]の上部のひさしに引っ掛けて取り付けます。その後、ブラケットの下部を壁面の方向に押し付けます。各部品が所定の位置に正しく収まると、カチッという音がしてロックされます。



STEP 2-B コンクリート又はコンクリートブロック壁面への取り付け

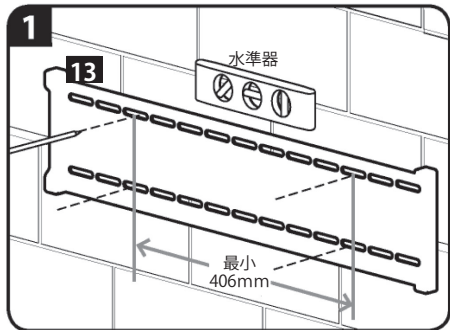
警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。
下記の「コンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。なお、本壁掛金具は、中に空洞のあるコンクリートブロックや鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取り付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件:

- ★ 壁掛金具[13]は、直接コンクリート表面に取り付けます。
- ★ コンクリートの厚さは、203mm以上必要です。
- ★ コンクリートブロックのサイズは、203 X203 X406mm以上必要です。
- ★ 水平方向の取付間隔は、406mm以上必要です。

1. 壁面に印を付ける

壁面の希望の高さに、壁掛金具[13]を配置します。壁掛金具[13]は水準器で水平を確認してから、下図の穴位置に4箇所のマーキングを付けます。

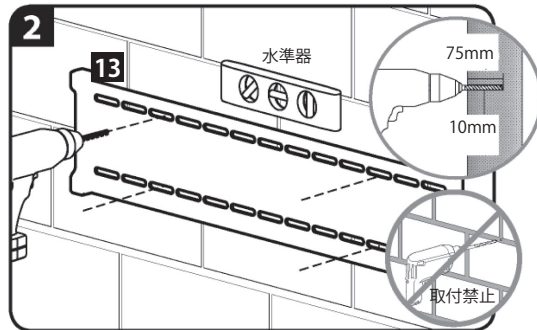


H-1 図

2. 下穴を開ける

下穴は、10mm 径のドリルビットを使って、必ず75mm の深さに穴を4箇所開けます。

重要: 取り付け強度が保てないので、ブロックの間のモルタル部には、ドリルで絶対穴を開けないで下さい。

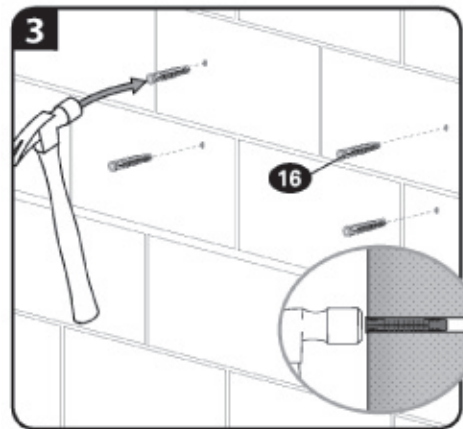


H-2 図

3. アンカーを挿入する

壁掛金具[13]を取り除いてから、4個のアンカー[16]を壁面に挿入します。

重要: アンカー[16]は、コンクリート壁面に段差無く完全に打ち込まれていることを確認して下さい。

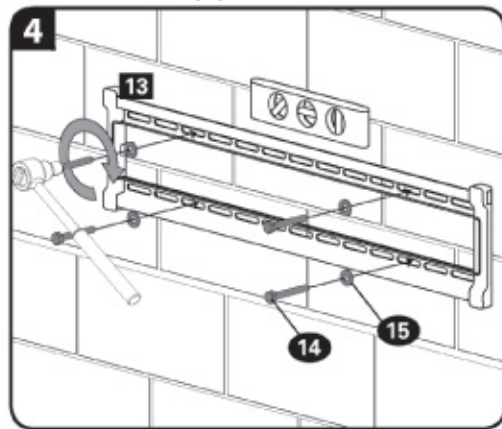


H-3 図

4. 壁掛金具を固定する

次にラグボルト[14]にワッシャー[15]を挿入し、壁掛金具[13]の穴に通してから、4箇所のアンカー[16]に固定します。

★ ワッシャー[15]と壁掛金具[13]の間に隙間ができない程度にしっかりとラグボルト[14]を締めます。
★ 必要以上にラグボルト[14]を締めすぎないで下さい。

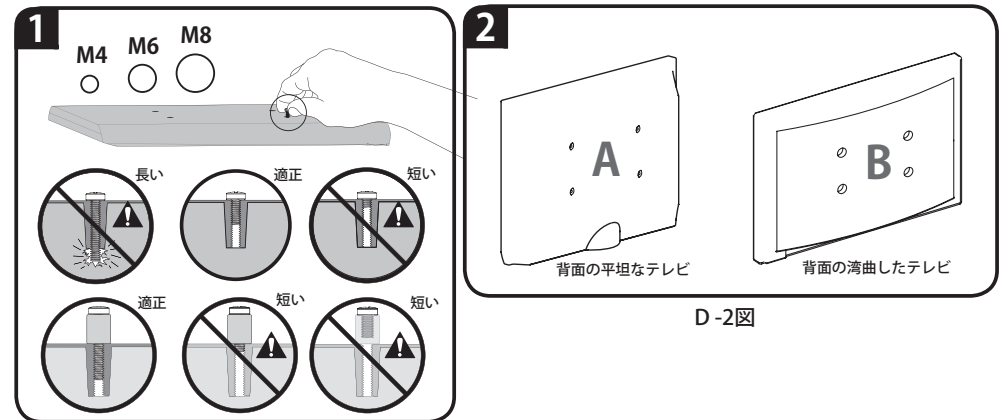


H-4 図

注意: 壁掛金具の不十分な取り付けはテレビをしっかりと固定できずに、地震等での脱落の原因になりますので、十分注意して確実に取り付けして下さい。

STEP 1 テレビに取り付ける部品を選択し、テレビにブラケットを取り付ける

注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意してください。
ねじ込んでいる時にもし抵抗があった場合、直ちにねじ込みを中止して下さい。使用するネジが長過ぎる場合、テレビの内部を破損する恐れがありますので十分ご注意ください。同梱のネジ以外の寸法のネジが必要な場合には、別途市販のネジを各自でご用意下さい。



D-1 図 テレビの取付に必要なネジの口径を選択する

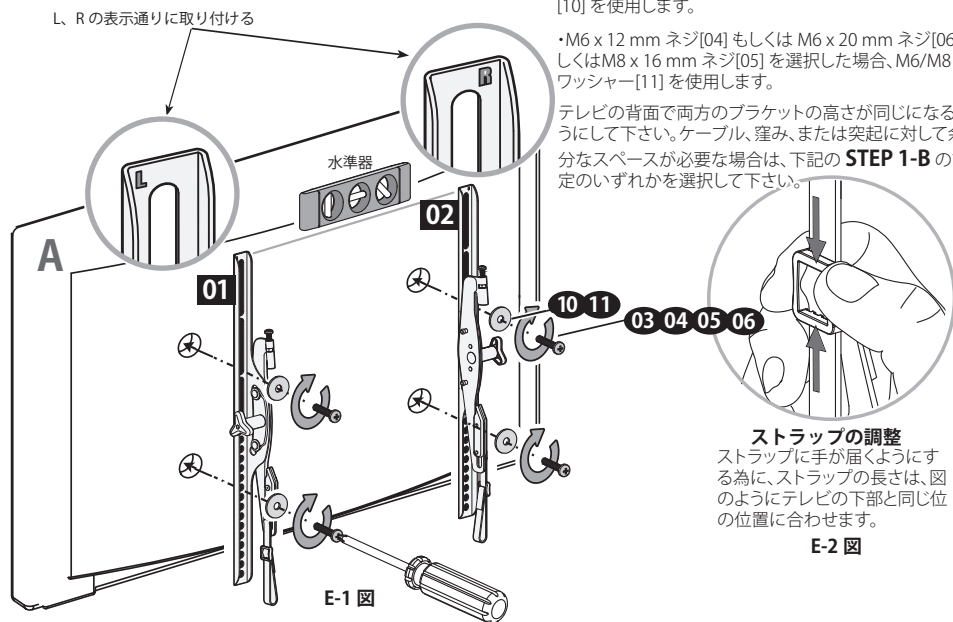
1. お使いのテレビのタイプによって、使用する部品が変わります。テレビの背面のネジ穴に手でネジをねじ込んで試し、正しいネジの直径 (M4、M6、またはM8) を選択します。
2. 壁掛金具をご使用になるテレビの背面が平坦かどうか、壁面とテレビの間にケーブル類を配置するためのスペースが必要かどうかを確認します。
 - ・ご使用のテレビの背面が平坦であり、ケーブル類を通すためのスペースが必要ない場合は、**STEP 1-A**に進んで下さい。
 - ・ご使用のテレビの背面が湾曲していたり、ケーブル類を通すためのスペースが必要な場合は、**STEP 1-B**に進んで下さい。

STEP 1-A 背面が平らなテレビにブラケットを取り付ける

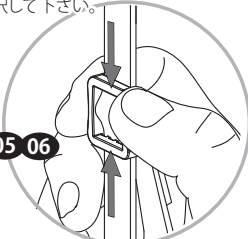
5 ページ での選択に応じて、部品を選択します。
 ・M4x 12 mm ネジ[03] を選択した場合、M4 ワッシャー [10] を使用します。

・M6 x 12 mm ネジ[04] もしくは M6 x 20 mm ネジ[06] もしくは M8 x 16 mm ネジ[05] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー[11] を使用します。

テレビの背面で両方のブラケットの高さが同じになるようにして下さい。ケーブル、窪み、または突起に対して十分なスペースが必要な場合は、下記の STEP 1-B の設定のいずれかを選択して下さい。



E-1 図



ストラップの調整
 ストラップに手が届くようにする為に、ストラップの長さは、図のようにテレビの下部と同じ位の位置に合わせます。

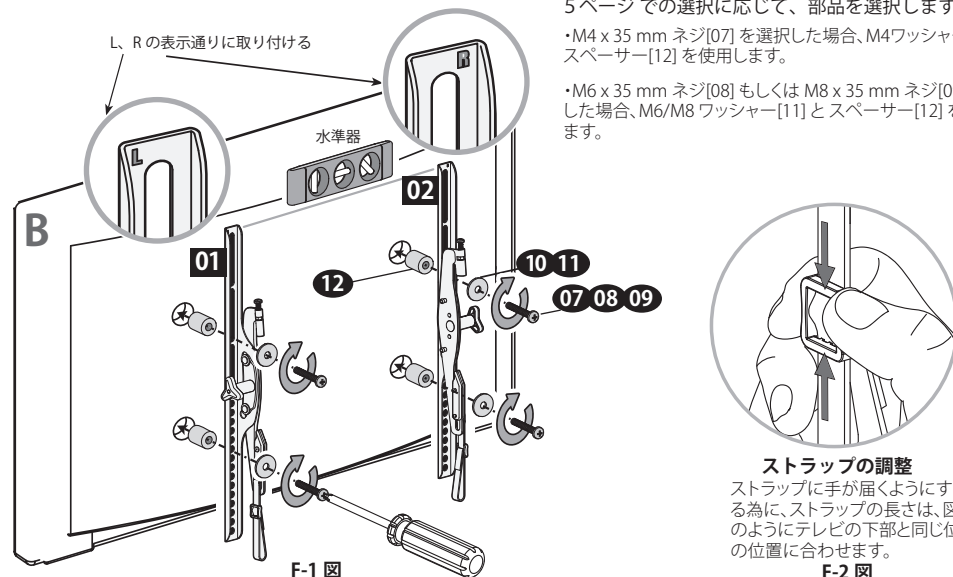
E-2 図

STEP 1-B 背面が平らでないテレビにブラケットを取り付ける

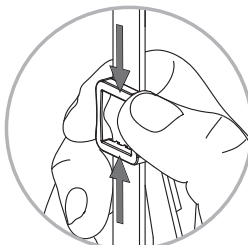
5 ページ での選択に応じて、部品を選択します。

・M4 x 35 mm ネジ[07] を選択した場合、M4ワッシャー [10] とスペーサー[12] を使用します。

・M6 x 35 mm ネジ[08] もしくは M8 x 35 mm ネジ[09] を選択した場合、M6/M8 ワッシャー[11] とスペーサー[12] を使用します。



F-1 図



ストラップの調整
 ストラップに手が届くようにする為に、ストラップの長さは、図のようにテレビの下部と同じ位の位置に合わせます。

F-2 図

STEP 2-A 壁掛金具を取り付ける --- 木柱の場合

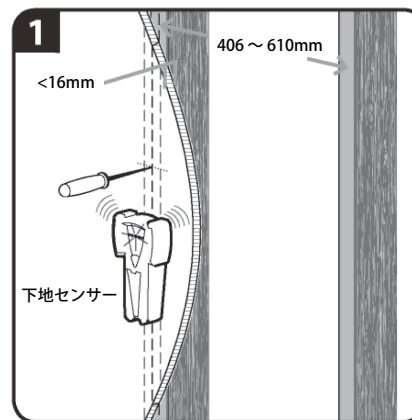
警告: 壁掛金具を取り付ける壁面は、壁掛にするテレビと壁掛金具の総重量の5 倍の重量を、保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なりますので、工事業者様が専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて施工して下さい。下記の「木柱壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。なお、本壁掛金具は、木柱の無い石膏ボード自体や鉄柱・鉄骨には取り付けできません。これらの取付対象外の壁面に取付けると、テレビが落下してけがや損傷事故の発生する場合があります。

施工の条件: ★ 壁面を覆う石膏ボードや壁面パネル・壁紙等の厚みは、16 mm以下にしてください。
 ★ 金具を取付ける柱の寸法は、取付ける面の幅38mm奥行き89mm以上が必要です。
 ★ 柱と柱の間隔は、406mm以上が必要です。
 ★ 各家屋毎の柱の寸法は、必ずしも規格のサイズではありませんので、柱の中心位置は必ず確認してください。

1. 木柱の位置を探す

千枚通しや細い釘などを使うか、または下地センサーを使って木柱の中央位置を確認します。

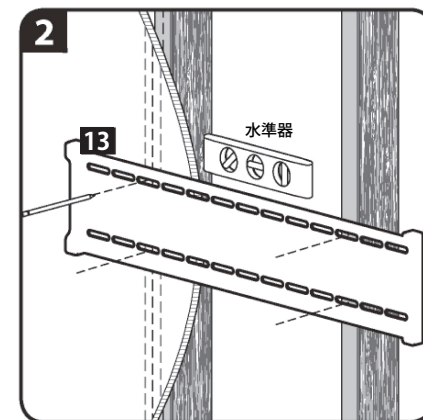
注意: ケガをしたり、壁面を破損しないように注意して下さい。



G-1 図

2. 壁面に印を付ける

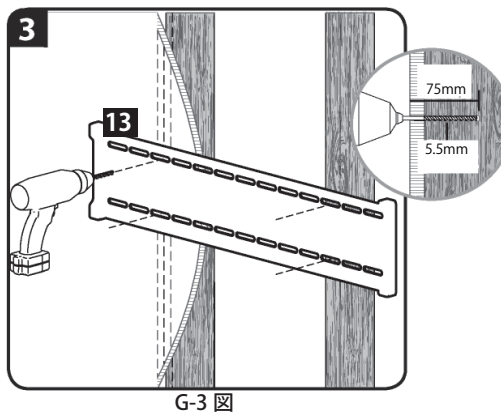
壁掛金具[13]を水平に置いて、木柱中心の取付穴位置に、4箇所に印を付けます。



G-2 図

3. 下穴を開ける

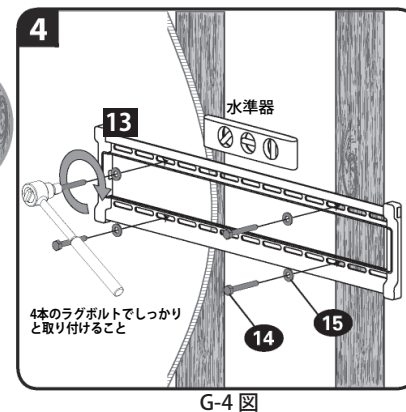
下穴は、5.5mm 径のドリルを使って、深さ75 mmの穴を4箇所開けます。



G-3 図

4. 壁掛金具を固定する

次にラグボルト[14]にワッシャー [15]を挿入し、壁掛金具[13]の穴に通して固定します。



G-4 図

★ ワッシャー[15]と壁掛金具[13]の間に隙間ができない程度にしっかりとラグボルト[14]を締めます。
 ★ 必要以上にラグボルト[14]を締めすぎないで下さい。

注意: 壁掛金具の不十分な取り付けはテレビをしっかりと固定できずに、地震等での脱落の原因になりますので、十分注意して確実に取付けて下さい。